

令和元年度 門真市立総合体育館指定管理者総合評価

【評価対象年度】：平成30年度

施設のサービス水準の視点 コメント

オープン後2年目の平成30年度は、市民ニーズに合うよう自主事業の入れ替えを積極的に行うなど、利用率向上に努め、昨年度よりすべての施設において利用率が向上したことは評価する。前年度に課題となっていた総合型地域スポーツクラブとの連携においては、連携事業を増加させるなど改善が見られたものの、当初の目標には届いていないため、今後も同クラブや他のスポーツ団体との連携を強化し、生涯スポーツの更なる発展を図られたい。

収支状況 コメント

収入については、利用者の増加により昨年度よりは増えたものの、精算基準額に満たなかったことから、サービスの向上等により利用者を増加させることにより、収入の増加を図られたい。
収入が支出を大きく上回っていることから、次年度以降に市民に還元されたい。

市による総合評価 コメント

アンケート調査の結果から、昨年に引き続き、総合体育館に対する施設利用者満足度は、高い評価を得ており、概ね期待している施設運営がされていると判断する。
今後は、総合型地域スポーツクラブの仕組みを活用した具体的な事業展開が可能となるよう、総合型地域スポーツクラブとより一層連携を図り、市民のニーズに答えていけるような自主事業の展開を期待している。
これらの理由により、概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされていると判断し、総合評価を「B」とした。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった